

石峰と抱月のふるさと出版物ご案内

改訂版 チベット巡礼探検家

「求道の師 能海寛」

A4判 202 P (内カラー36 P) 定価 5,000 円＋税

著者：隅田正三 発行所：USS出版

明治の玄奘三蔵と称されるチベット巡礼探検家能海寛は、仏教を英文経典に翻訳し、世界に発信して5億の仏教徒がメッカとする世界宗教学議所を創設する考えで西藏語大藏経を入手し英訳するために自ら企画・上申して東本願寺の派遣僧として巡礼探検に赴いた。若干33歳の若さで中国の雲南の奥地で行方不明となった。しかし、ダルツェンド（康定市）に留まって、サンスクリット経典、西藏語大藏経を入手して半年間で4か国語に翻訳する快挙をなした。

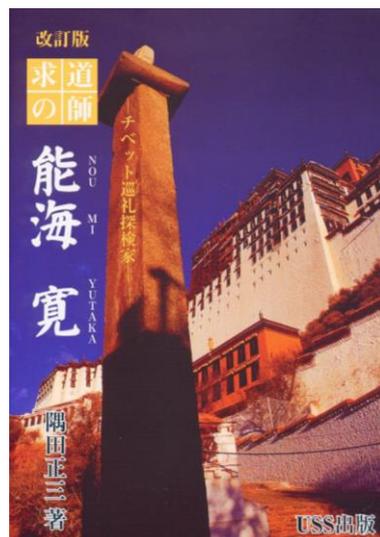
この「求道の師能海寛」は、著者が40年間、資料発掘、資料研究、顕彰活動をとおして、完成したものである。

（内容）I. 求道の師「能海寛」（評伝・カラー写真197枚）

II. 『世界に於ける仏教徒』（口語体に変換・ルビ付）III.

「口代」（能海寛の遺書）IV. 「般若心経」（4か国語に翻

訳したもの）V. 能海寛チベット文献将来品VI. 補助資料VII. 能海寛往復書簡データVIII. 能海寛関係（市指定文化財／歴史資料）一覧IX. 能海寛略年表X. 能海寛中国大陸旅行地図



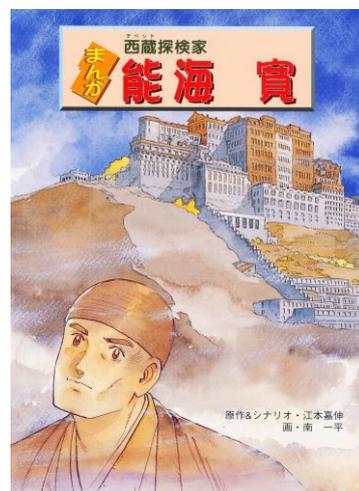
まんが『西藏探検家 能海寛』

B5判 P160(内P8カラー) 定価2,100円(税込み)

原作・シナリオ：江本嘉伸 画：南一平

波佐文化協会刊

タイトルは、まんがとなっているが、単なる漫画本ではない。構成は、「まんが頁」P120と「資料頁」P40の合冊で、「資料頁」には、アルバム、「世界の屋根を目指した『能海寛』」（伝記）、略年譜、能海寛と関わった人物、全頁にわたり総ルビが施されている。子供から大人まで、家族一緒に学習できるように工夫されており能海寛を知る上では、最適な著書である。



文豪「島村抱月」

A5判 86P 定価1,260円(税込)

隅田正三著 波佐文化協会刊

島村抱月の業績の再評価と多くの人に抱月の果たした業績を正しく理解していただくために、写真資料を豊富に採用し、抱月の生誕地の解明と生涯を平易に解説した内容で、抱月ガイドブックの役目も果たす必見の図書である。



『民具を用いた労働慣行』

A4判・226P 定価3,000円(税込)

発行者：西中国山地民具を守る会

実践民俗学を提唱して40年間の有形民俗文化財保護活動をとおして文化財全般の保護・啓蒙活動の記録集である。
(内容) I.石見波佐地方の紙漉き習俗 II.石見の紙布づくり
III.紙漉き用具・習俗から見た東西の変遷 IV.浜田市の民俗調査から V.石見山間部の暮らしと年中行事 VI.波佐の年中行事 VII.写真「楮蒸し作業・紙漉き工程・紙布づくり」
VIII.写真「民具を用いた労働慣行」(屋根葺き・荒起こし・代掻き・床ならし・代満て・稲扱ぎ・唐臼挽き・早稲搗き・楮蒸し・楮の皮剥ぎ・楮こすり・紙叩き・紙漉き・板乾し・麻の伐採・麻蒸し・大花田植・代掻きの図) IX.指定民具一覧 X.西中国山地民具を守る会の活動記録など。
貴重写真満載。



『世界に於ける仏教徒』(復刻版)

A5判 108P 定価1,200円(税込)

能海 寛著 (M26年刊行) 能海寛研究会刊

明治26年に自費出版された論文であるにも関わらず、現代に熱いメッセージを伝えている。能海寛研究会では、復刻版の刊行を行った。

(内容) 宗教の革新、新仏教徒、宗教学上の仏教、哲学上の仏教、歴史上の仏教、道徳上の仏教、比較宗教学、サンスクリット、仏教国の探検、西藏国探検の必要、仏教徒の連合、仏教回復、総会議所、巡礼、海外宣教、仏教学校、仏典翻訳、本山政論、議会論、教会組織、教職教育、実業論、財政論。



「金城の風土記」

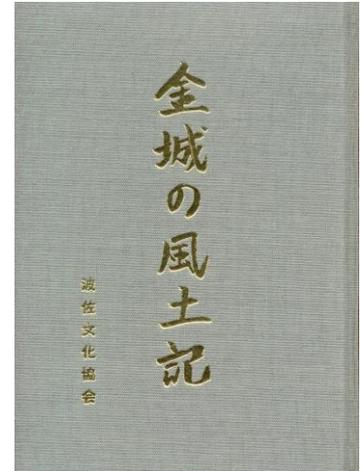
B 5判・616P 定価 5,000 円(税込)

発行者：波佐文化協会

ふるさとの偉人、チベット巡礼探検家能海寛、日本近代劇の先駆者島村抱月の2氏の調査・研究・顕彰活動を通して、生涯学習の推進と町起こし活動の実践記録である。

人材の育成には、四半世紀かかる、それなりの長いスパンで取り組んで行かなければならないものである。

(内容)第一部「歴史に学ぶ」古代・中世・近世・現代編では、23名の客員講師による執筆。第二部「ふるさとカルチャー25年」I.手づくりのふるさとカルチャー 1.公的社会教育の谷間からの出発 2.民間指導型の新しい成人教育 3.享受型学習からの脱却 II.ふるさと起こし事業の推進 1.人材と伝統文化の発掘 2.研究・顕彰・フォーラムによる生涯学習 3.参加創造型学習を求めて 4..住民自己教育力の育成 2.地域自立への飛躍など。25年間に亘る生涯学習の実践記録である。



「能海寛のふるさと」

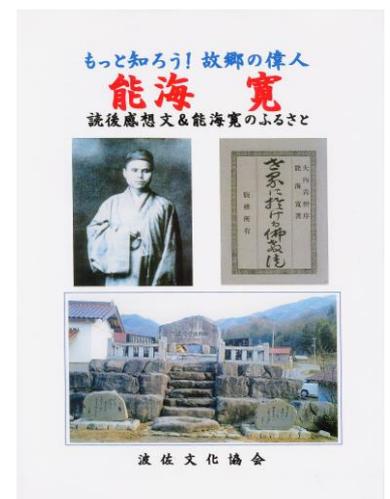
A 4判 (カラー判)・40P 定価 1,200 円(税込)

発行者；波佐文化協会

この冊子は、「読后感想文&能海寛のふるさと」として作成されている。前半は、「まんが『西藏探検家 能海寛』」の読后感想文で応募された17名の感想文を収載。後半は、能海寛のふるさと金城町の観光スポット（能海寛の「歌碑」設置場所）など16箇所の観光案内カイドで構成されている。

「能海寛歌碑めぐりウォーク」コースの詳細が掲載されており、この冊子を片手に独りウォーキングで二倍の楽しみが増えそう。

(主な内容) 宇治川の先人争いの佐々木高綱建立の常磐山八幡宮、大杉（県指定天然記念物）、笠松峠の畳石路（市指定史跡／全国第2位の距離）、戦国武将尼子経久創建の永正寺（現永昌寺）・経久公の墓、能海寛の生家天頂山浄蓮寺・顕彰碑・ハクモクレン（市指定天然記念物）、千年比丘一号墳（4世紀前半）、浜田市金城民俗資料館（国・県指定有形民俗文化財）など。



「能海寛著作集」全15巻・別巻

A5判・上製本・貼箱・総9,200頁（各巻平均500頁）

全15巻、別巻1（全18冊）セット価格266,370円（税込）

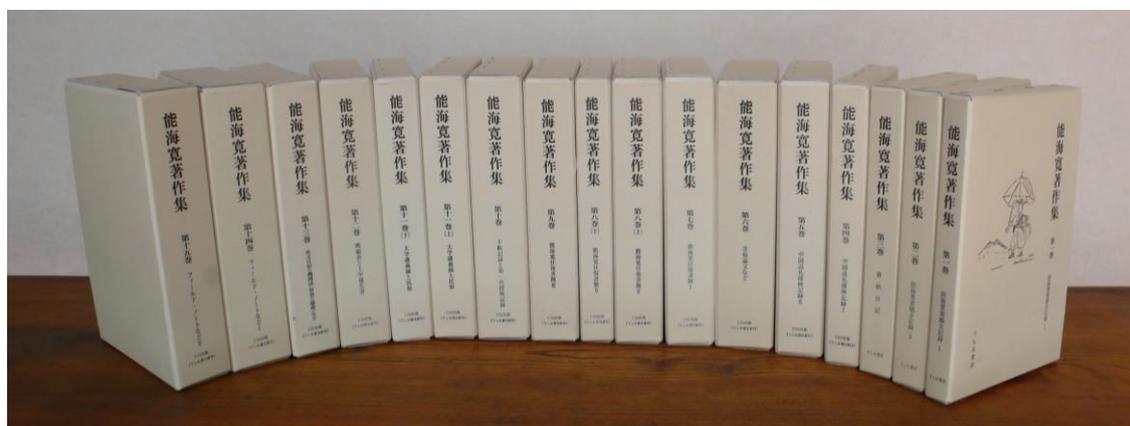
能海寛研究会編 発行所：USS出版

5年の歳月を投入して、能海寛研究会の総意の下に完結した『能海寛著作集』は、チベット巡礼探検家能海寛の生資料を直接印影化した研究者待望の著作集である。印刷業界では、いわば先駆的な取り組みであったと言えよう。

この著作集は、仏教関係者のみならず、中国大陸11省府12,000Kmを2年半、聖地を巡礼探検した紀行記録で、地理学、民俗学、歴史学、中央アジア研究、中国シルクロード・西南シルクロード研究、W. ウェストン研究、E. アーノルド研究、明治期の慶応義塾・哲学館（東洋大学）の欠落している内容を補完する一級の資料群である。

この著作集を活用して、多くの博士号を取得され、多くの論文が生れることを期待したい。このことが、今回の著作集発刊に至った発心である。

（全巻収録内容）第1巻「能海寛業績全記録Ⅰ」解説：金子民雄、第2巻「能海寛業績泉記録Ⅱ」解説：金子民雄、第3巻「春秋日記」解説：金子民雄、第4巻「中国巡礼探検記録Ⅰ」解説：金子民雄、第5巻「中国巡礼探検記録Ⅱ」解説：金子民雄、第6巻「寄稿論文など」解説：奥山直司、第7巻「能海寛往復書簡Ⅰ」解説：隅田正三、第8巻上「能海寛往復書簡Ⅱ」解説：隅田正三、第8巻下「能海寛往復書簡Ⅲ」解説：隅田正三、第9巻「能海寛往復書簡Ⅳ」解説：金子民雄、第10巻「手帳記録と第一次探検記録」解説：金子民雄、第11巻上「大学講義録と民俗」解説：横田禎昭、第11巻下「大学講義録と民俗」解説：横田禎昭、第12巻「嘆願書と上申報告書」解説：金子民雄、第13巻「英文日記と機関誌」解説：岡崎秀紀、第14巻「フィールド・ノートなどⅠ」解説：隅田正三、第15巻「フィールド・ノートなどⅡ」解説：隅田正三。別巻1「総合索引」編著：隅田正三。



『能海寛著作集』全15巻(17冊)、別巻1冊 2010年3月完結

「新仏教徒運動の提唱者『求道の師 能海寛』」

A4判 カラー版 56P 定価 1,500円＋税

隅田正三著 波佐文化協会刊

本著は、『求道の師』出版以後、能海寛研究会機関誌『石峰』、同定例学習会での発表、雑誌類への寄稿した文献を集大成して、今回、能海寛生誕150年の記念する年に改定版の形で、「新仏教徒運動の提唱者『求道の師 能海寛』」と題して、発刊したものです。内容は、明治21年4月8日にE.C.S(英文会)を組織し、週刊機関誌『NEW BUDDHIST』(新仏教徒)を発行。23年には、上京し、月刊機関誌『Wisdom and Mercy』(知恵と慈悲)を発行。古河勇と同居自炊で「木石書院」と名付けて、新仏教徒運動を進める。慶應義塾で「土曜会」設立に参画する。哲学館へ転学後の25年4月8日に「釈尊降誕会」の組織に尽力する。26年4月、『純正哲学自解』を表す。26年11月、『世界に於ける佛教徒』を自費出版する。27年12月に、古河勇が立ち上げた「経緯会」にも参画し、31年4月まで、会務運営に影響を与えた。31年11月チベット巡礼探検行以降は、中国大陸を12,000km踏破し、聖地巡礼、サンスクリット経典を入手し、経典の翻訳に尽力した。わずか33年間の生涯に「宗教学」の集大成を目指した。これらの内容は、能海寛関係資料3,000点に基づき記述したものです。



【詳細目次】1 生い立ち 2 向学心に燃えて 3 京都・普通教考時代 4 慶應義塾時代 5 哲学館時代 6 チベット探検の具現化を目指す 7 高嶋でのへき地教育の試み 8 婚約・新婚時代 9 探検への旅立ち 10 第一次探検(川蔵公路コース) 11 仏典の翻訳に業績 12 第二次探検(青海公路コース) 13 第三次探検(雲南コース) 14 「新仏教徒運動」の推進 15 能海寛の横死情報を巡って 16 顕彰活動の推移 17 「能海学」として構成へ伝える 能海寛略年譜 参考文献など。

※ ご注文いただいた書籍は、現品到着後に郵便振替にて代金を払い込みください。
なお、送料は実費を申し受けます。

ふるさと図書のご注文は下記へお申込みください。

〒697-0211 島根県浜田市金城町波佐イ 394

波佐文化協会

TEL/FAX (0855) 44-0010

郵便振替 01490-9-285

E-mail: bunka@hazaway.com